

広報 きずな 春号

2012 Spring

★編集発行／芦北町社会福祉協議会 熊本県芦北郡芦北町大字湯浦1439-1(きずなの里内) ☎0966-86-0294
HP:<http://www.ashikita-shakyo.com>

きずなの里・八幡荘デイサービスセンター・生活支援ハウスにて豆まきを開催!!



2月3日(金)にきずなの里では、職員が鬼に扮し、八幡荘と生活支援ハウスでは、民生委員さんにゲスト参加していただき、利用者様の無病息災・家庭円満を願い、豆まきを行いました。

鬼にめがけ「鬼は外～福は内～」と豆をぶつけられ、利用者様のいつも以上の元気よさに鬼も圧倒され、すぐに逃げていきました。豆まきを終えたあとも利用者様の笑い声が絶えず、とても楽しまれていました。

きずなの里・八幡荘デイサービス利用者様のひなまつり!!

きずなの里にて3月2日、八幡荘デイサービスセンターにて2月28日～3月2日にひなまつりを行いました。

きずなの里デイサービスでは、利用者様が雛人形を作って本物のお雛様と一緒に飾り、記念撮影を行いました。可愛らしく、個性的なお雛様を皆さまで眺めておられました。

八幡荘では、利用者様が折り紙で思い思いに模様をつけた手作りの羽織を着てお内裏様・お雛様に扮し、記念撮影を行いました。

きずなの里も八幡荘もひなまつりをとても楽しめました。



～春号 主な内容～

- デイサービスセンター
- 地域福祉活動推進員等会議
- 「熊本見守り応援隊」模擬訓練
- 広がる地域の輪!
- 地域包括支援センター
- 介護予防サポーター養成講座
- 香典返し及び一般寄付
- ボランティアセンター紹介 など





地域福祉活動推進員等会議

～地域福祉活動について～



当協議会では、地域福祉活動の現状や課題、今後の地域福祉活動の展開について「ひとちいき計画ネットワーク」代表取締役 佐伯謙介氏をアドバイザーとして招き、10月末から12月にかけて「湯浦地区」、「田浦地区」、「吉尾地区」、「大野地区」、「佐敷地区」において区長・民生委員・推進員を対象に「地域福祉活動推進員等会議」を行いました。全地区で133名の方が参加され、「推進員が取り組んでいること」「推進員活動での困り事」「こんなことがあったら、できたらアイデア」について、各グループ活発な話し合いが行われました。また、他の地域の活動を知り、「困り事」について、解決へのヒントを得た地域もあったようです。当協議会としましては、今後、この会議で出た意見やアイデアをもとに、各地区及び推進員等の活動をサポートしてまいります。



湯浦地区



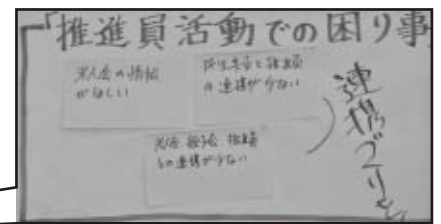
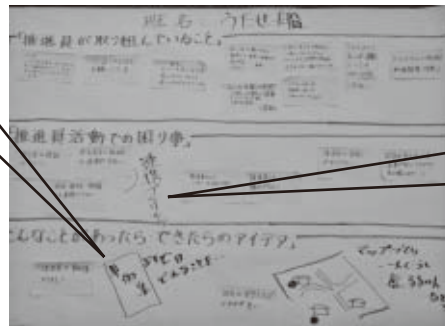
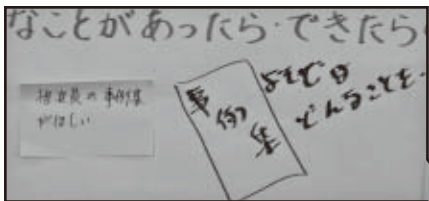
田浦地区



吉尾地区



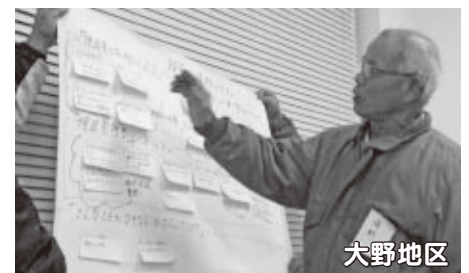
各地区の活動や困り事、アイデアを共有することができました。



各テーマに沿って活発な意見交換ができました。



佐敷地区



大野地区



『熊本見守り応援隊』模擬訓練を実施しました



熊本県は、平成23年3月11日に誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目的に株式会社熊本日日新聞社、熊本県民生委員児童委員協議会、熊本県社会福祉協議会、熊本県警察本部、熊本県の5団体が「熊本見守り応援隊」の協定を締結しています。

これを受け、当協議会でも熊本日日新聞販売センター、芦北町民生委員児童委員協議会、芦北警察署、芦北町、芦北消防署の協力を得て、12月～2月にかけて「湯浦地区」、「吉尾・大野地区」、「佐敷地区」、「田浦地区」で『熊本見守り応援隊』模擬訓練を実施しました。訓練の内容については、事例1は「発見時、緊急性を要しない場合」、事例2は「緊急性を要する場合」の2種類を実施、事例2については地域の現状に合わせて内容を変えながら行いました。

参加者からは「関係機関への電話での通報や対応など大変勉強になった。」「高齢者で見守られる立場でもあるが、見守り役として地域の中で自分にできることがあれば役に立ちたいと思った。」「地域ぐるみの見守りがいかに大切かわかった。」との声が聞かれました。今後、この訓練がきっかけとなり、町内に見守りのネットワークが広がり、安心して暮らし続けることのできる地域づくりの実現を目指して取り組んでまいります。



会議の様子



オリエンテーションの様子

おかしいな・・・新聞が2日分たまってる！

!!

異変に気づく

ちょっと中の様子が変なんです・・・

販売店へ連絡

〇〇さん!! いらっしゃいますか??

駆けつけて声をかけてみるが応答がない。

△△地区の〇〇さんなんですが・・・

担当地区の民生委員さんに連絡をとってみます。

社協へ連絡

警察署ですか？
今、△△地区の〇〇さん宅にいますが・・・

民生委員さん、社協職員が駆けつけたが、中の様子がわからない。遠方にいる家族に連絡（家屋に入る許可をとる）をとり、警察署に通報する。

大丈夫ですか？

警官が駆けつけ、自宅周辺を確認。開いてる窓から中に入り、〇〇さんを発見、救助を要請。

模擬訓練の様子

第2回福祉・介護チャレンジ教室 in 計石公民館

2月14日(火)に福祉・介護サービスの意義や重要性を理解してもらうことを目的に第2回福祉・介護チャレンジ教室を計石公民館にて開催しました。

当日は芦北町施設ボランティア連絡協議会の協力を得て、芦北町の福祉の現状と食事に関する基礎知識を身につけてもらうため、食事形態に関すること・食事介助・口腔ケアについての講話と実技の実施と介護保険に関する講話をしていただきました。食事介助の実技では誤嚥を予防するための体操、寝たきりの方の食事のとり方など各グループとも和気あいあいの中、食事中の留意点や疑問などを担当者に質問してもらいました。

介護保険に関する講話では、地域包括支援センターより、介護保険の基礎知識として介護保険の申請方法や介護度の違いによってどのようなサービスが受けられるかの説明がありました。

参加者からは、「ベッドで寝ながらの食事は難しかった。」「以前はとろみ調整食品(トロメリン)がなく、そのまま飲ませていたが、とろみをつけて飲んでみると飲みやすかった。」「などの感想が聞かれました。



上天草市社協への 視察研修を 実施しました

2月22日(水)に上天草市社会福祉協議会への視察研修を実施し、地域福祉活動推進員さん等31名が参加されました。上天草市では小地域ネットワーク(見守り活動)の取り組みが活発に行われており、緊急連絡先や地域の支援者を記入したネットワーク表を災害時の避難支援計画にも活用する仕組みづくりを行っています。

研修では上天草市の推進員さんとの意見交換も有り、皆さん活発に質問されたり、「ネットワーク表を自分の地域でも取り入れたい」などの声が聞かれ、充実した研修となりました。



広がる地域の輪！

今回、取材した白岩地区では8年前に当協議会の地域福祉活動モデル事業の助成をうけ、公民館に調理器具などを購入されて以来、8年間毎月第1土曜日に白岩親子会の子どもたちを対象に料理教室を開催しています。この子ども料理教室は、区長さんを始め、地域在住の栄養士さんの他、料理好きのボランティアさんの協力で運営されています。

取材をした3月3日(土)は8名の子どもたちが参加し、メニューはひなまつりにちなんだ料理でボランティアさんの指導のもと楽しみながら作っていました。完成した料理を前に、ひなまつりの豆知識についての話もあり、子どもたちは真剣に耳を傾けていました。

食事はみんなでおしゃべりしながら満面の笑みで口いっぱい料理を頬ばっていました。食後は、みんなで片づけをして、レシピを貼ってある「白岩子ども料理教室ノート」にそれぞれ感想を書いて区長さんにノートを見せたのち、元気に挨拶をして帰っていました。子どもたちの中には持ち帰ったノートをもとに料理を作って家族にご馳走した子どももいるようでした。この料理教室をとおして子どもたちは楽しみながら食育や季節行事について学んでいるようでした。本当に終始子どもたちの笑顔と笑い声の絶えない楽しい料理教室でした。



一人も見逃さない！災害時に生きる地域の力

特集

地域福祉推進講座 「災害図上訓練D-I-G」



当協議会では平成21年度から3年間にわたり町内の各公民館等で地域福祉推進講座（災害図上訓練D-I-G）を開催してきました。

この講座では災害時の危険箇所や避難場所、支援を必要とする人（要援護者）などを地図に書き込みます。参加された皆さんで議論しながら完成させた防災マップは、地域の実態を映し出し、きめ細かな情報が入ったものとなりました。

完成したマップを見ながら地域の抱える課題や日頃からの近所付き合いについて話し合うことで、災害は誰にでも降りかかる問題であり、災害弱者は福祉の対象者であることを再認識するきっかけとなります。

昨年3月に発生した東日本大震災をきっかけに、人と人の「きずな」や地域の「つながり」が見つめ直されている今、誰もが地域のことを気にかけ、助けを必要とする人との関わりを深める取り組みが求められています。

当協議会では今後も、地域の状況を把握し、支え合うことがいかに大切か皆さんと考え、地域福祉の仕組みづくり・きずなづくりを行っていきたくと考えています。



地域福祉推進講座とは？

地域の皆さんで地図を囲み、災害時に地域に起こりうる課題の掘り起こしと、日頃からの関係作りが災害時にいかに大切なのかということと一緒に考える講座です。

講座に関するお問い合わせはこちらまで

芦北町社会福祉協議会

地域福祉課

電話（86）0294

参加者の声・地域での取り組み



- ・高齢者や障がい者など避難時の不安を抱えている人がいる。
- ・地域の危険箇所や避難場所について、皆で共有することができた。
- ・日頃の近所付き合いでできる防災・減災があることを知った。
- ・避難の際の取り決め事項を各世帯に配布し、支援者を決めている。
- ・緊急時に備えた取り組みを行っている。（一人暮らし宅の鍵の預かりや緊急連絡先の把握など）
- ・友愛訪問や防犯パトロールで日常的な見守り活動を行っている。

合言葉は

気づき

ポストに新聞は溜まっていないか？夜中になっても電気が付いたままになっているなど、普段とは違う様子、異変に気づく視点を持つことが大切です。

声かけ

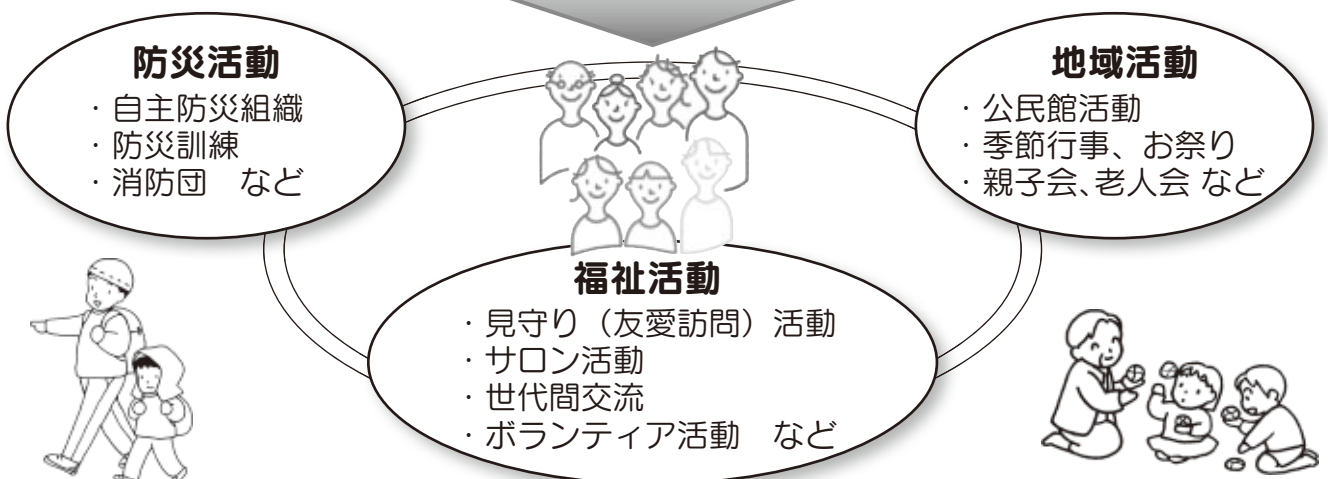
日頃からの近所づきあいの中で、あいさつを交わすなど顔の見える関係作りが地域の要援護者の存在を認識し、災害時の支援にもつながります。

つなぐ

地域での困りごとに対して、一人で抱え込むのではなく、地域の相談役や専門機関につなぐネットワークをつくり、問題解決する仕組み作りを行っています。

まずは向こう三軒両隣から！！

日頃からの近所付き合いが災害時支援の底力となります。特に見守り・ふれあい活動は普段の暮らしの中でちょっとした意識・心がけを持つことにより孤立死や悪質商法被害防止にもつながります。地域では様々な活動が行われており、分野の違いはあっても安心・安全な地域づくりを目指して、地域住民間の連携を図ることが重要です。



職員研修を開催しました

1月27日、きずなの里においてインフォミックス藤山久寿氏を迎え、「ゆるんだネジを締め直せ！」をテーマに職員接遇セミナーを開催しました。

内容は、社会人の基礎チェックを始め、挨拶の重要性、朝礼の意味や電話対応、接客についてご講義いただき、52名の職員が参加しました。

この研修をとおして業務の進捗状況や課題などを共有することの重要性、職員間の共通理解と接遇の大切さを再確認することができた研修会となりました。



**ご協力
ありがとうございました**

昨年、10月から12月にかけて実施しました赤い羽根共同募金運動につきましては、皆様のご理解とご協力を頂き誠にありがとうございました。

おかげさまで、芦北町分会の今年度の目標額600万円を達成することができました。皆様から頂いた募金は県内の福祉施設や芦北町の地域福祉向上のために配分される予定です。

平成 23 年度募金額
6,011,581円

福祉教育セミナーを開催！

1月28日(土)子育てをテーマに尚絅大学院期大教授授浜崎幸夫氏をお招きし、「子どもはどのようにして育つのか」地域と大人の役割」を演題に福祉教育セミナーを開催しました。

当日は、51名の方が参加され、中国の子育て事情や現代の子どもを取り巻く環境の変化やそれに伴う問題点、プレイパークなどで自然に触れながら遊ぶことの大切さやその効果についてご講演いただきました。

参加者からは、「いかに自然や人とのコミュニケーションが大切なことかわかりました」「子育ての責任は私たち大人にあると感じました」などの感想が聞かれました。参加者の皆さまにとって、今後の子育てにどのような関わっていくべきかとも考えさせられた講演になったようです。



介護者のつどい

くひなまつりin人吉・球磨

3月1日(木)に在宅で介護をされている介護者を対象にリフレッシュを図ることを目的に人吉の神城文化の森とホテル華の荘へ行きしました。

当日は12名の参加があり、神城文化の森では、江戸時代から昭和までの2万点の雅なお雛飾りを前に昔話に花を咲かせておられました。ひなまつり会場をあとにして、会場をホテル華の荘に移し、食事と温泉入浴、介護に関する情報交換を行いました。皆さま美味しい食事に舌鼓をうち、広くてきれいな温泉に癒されていました。また、情報交換では、日頃の介護についての意見が活発にでいていました。参加者からも「それぞれの立場でのお話を聞き、よい勉強になりました」「お雛様を見られてよかった」との感想が聞かれました。介護の手を離れ、参加者の方々もつかの間の休息となり、リフレッシュにつながったようです。





地域包括支援センターにご相談ください



地域包括支援センター・・・高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を送るために、高齢者をあらゆる面から支える総合機関として社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師（経験豊富な看護師）が連携して様々なご相談に応じています。

* お問い合わせ先/地域包括支援センター TEL：86-2270

○介護予防ケアマネジメント

介護予防対象者の介護予防ケアプランの策定、評価などを行います。



○総合相談支援

介護保険以外のサービスを含む、高齢者や家族に対する総合相談を行います。



主な業務内容

○権利擁護、虐待の早期発見・防止

認知症などにより金銭管理が難しい方に対して援助する権利擁護や虐待の早期発見・防止を進めます。

○包括的・継続的ケアマネジメント

包括的・継続的なケアマネジメントが行われるよう、地域の介護支援専門員の後方支援をします。

高齢者のみなさんが暮らしやすい地域を目指して、介護支援専門員の資格を有する方を対象に毎月第3水曜日13：30よりきずなの里にて「介護支援専門員定例会」を開催しています。気軽にご参加ください。



芦北町介護予防サポーター第2期生が誕生しました!!



当協議会では、高齢者の寝たきりや閉じこもりを防ぐため、介護予防の一つとして町内88カ所の公民館で「たっしゃか会」を開催しています。この事業をたっしゃか会職員と一緒に支えていただくのが「介護予防サポーター」です。

2月にはこの介護予防サポーターを養成する講座を4回に渡って実施し、新たに2期生が誕生しました。講習では、血圧や体の仕組みや、オリジナルのたっしゃか体操及びレクリエーションの指導法、認知症について学び、受講生の方たちは、自分自身の介護予防や芦北町の高齢者のために真剣に取り組まれました。今後、1期生・2期生の方たちとたっしゃか会職員が協力して住民の皆さまが住み慣れた地域でいつまでも元気に過ごすことができるよう介護予防の推進にさらに力を注いでまいります。

また、たっしゃか会では参加者も募集しています。参加したことのない方は、年齢や条件等はございませんので是非参加してみてください。

介護予防サポーター、たっしゃか会については下記までお問い合わせください。

* お問い合わせ先 八幡荘 予防推進課 TEL：87-0294



湯浦温泉『きずなの湯』のご案内

きずなの里には、一般のお客様も利用できる温泉があります。スロープ、手すりも付いているので高齢者や障がいをお持ちの方も安心してご利用できます。職員一同、皆さまの来館をお待ちしています。



○営業時間／15:00~21:00

○休館日／12月31日~1月3日

※他に、施設点検等のため休業日が年に数日あります。

○入浴料／大人(12歳以上).....170円

中人(6~12歳未満)....130円

小人(6歳未満).....70円

※お得な回数券10枚綴りもあります。

※毎月、第4水曜日は日頃の感謝の気持ちを込めまして、無料入浴となっています。

香典返し及び一般寄付

本協議会にご芳志賜りました。ありがとうございます。

(平成23年12月1日~平成24年2月末受付分)

12月分

・田上 愛子	小田浦5	(故田上 俊信)	・谷口 重光	海浦2	(故谷口シズエ)
・尾崎 定男	田浦町3	(故尾崎 ジツ)	・山本 茂	田浦4	(故山本 幸子)
・永野 博昭	小田浦5	(故永野ハツエ)	・田中 節子	井牟田1	(故田中タエ子)
・道崎 中	海浦1	(故道崎キクエ)	・谷崎 洋二	山口県	(故谷崎アキエ)
・稲田 昭則	八代市	(故稲田エミ子)	・平生 豊	平生	(故平生サダメ)
・立場 広光	花岡西	(故立場 正子)	・鶴田健一郎	沖繩市	(故鶴田ヨシ子)
・藤井 文雄	豊岡	(故藤井 文子)	・田中 正司	鶴木山	(故北川アヤ子)
・塩村キクノ	塩浸	(故塩村 孝)	・山下 強	花岡東	(故山下美恵子)
・久米田ムツ子	計石西	(故久米田實光)	・中村 民憲	花岡東	(故中村 吾一)
・村松 航司	道川内西	(故村松 保行)	・宮脇 節男	大川内南	(故宮脇ハツエ)
・川口キクエ	簸瀬	(故川口 市郎)			

1月分

・福原 政義	小田浦5	(故福原 末義)	・田多良龍清	田浦4	(故田多良ムツ子)
・田中 茂穂	熊本市	(故田中 俊治)	・野口 勲	小田浦7	(故野口 清子)
・岩本 清記	八代市	(故岩本 ツギ)	・福井 健一	田浦町1	(故福井 藤吉)
・吉田 明正	熊本市	(故吉田ヤスエ)	・福永 光男	小田浦2	(故福永 末喜)
・堤 香織	計石西	(故石村喜代子)	・宮島 住子	湯北	(故宮島 優)
・田爪 典子	花岡西	(故田爪 休)	・芥川田鶴子	花岡東	(故芥川 大吉)
・林田テル子	花岡東	(故林田 稔)	・村松 航司	道川内西	(故村松ツギエ)
・柿内 福恵	大尼田	(故柿内 重光)	・三浦ミツメ	計石西	(故三浦 一昭)
・三道 数子	諏訪	(故三道 輝義)	・高峰 正則	宮浦	(故高峰サツ子)
・山口 榮子	湯南	(故山口 幸男)	・緒方 隆	芦北	(故緒方ヤス子)
・白坂シヅ子	諏訪	(故白坂 秀志)			

2月分

・松本 昭生	田浦町1	(故竹田 タエ)	・石橋 義立	古石	(故石橋 良子)
・木林 昭子	白木	(故木林 常男)	・川口フミエ	大川内東	(故川口 均)
・小松キクエ	芦北	(故小松喜八郎)	・徳永 保人	大野	(故徳永 エツ)
・木吉 安志	白木	(故木吉ツギノ)	・山下 元樹	計石東	(故山下トエ)
・阪口 幸子	海浦2	(故阪口 昇)	・遠山アサ子	計石西	(故遠山四十三)
・山本 瑞恵	上町	(故山本 強)	・一村ヤス子	花岡西	(故一村己嘉男)
・田中 幸助	東京都	(故田中 常子)	・赤迫 茂光	湯南	(故赤迫フジノ)
・才藤 実	道川内西	(故才藤 正子)	・平田 正巳	西告	(故平田 勝)
・山元 三幸	小田浦7	(故山元 香)			



きずなの里福祉事業のご案内Vol.4【ボランティアセンター】

ボランティアセンターとは……ボランティア活動の促進及び啓発活動、福祉教育の推進、ボランティア連絡協議会活動の支援を主な事業としています。

○ボランティア活動の促進及び啓発活動

ボランティア活動の促進としてボランティアを必要とされる施設などと登録ボランティアの方とを結ぶ連絡調整を行い、児童生徒のボランティアに対する意識の向上と社会福祉施設への理解を深めることを目的に福祉体験学習などの事業を実施します。



○福祉教育の推進

依頼のあった学校に対し、出前福祉講座を実施します。車椅子体験やアイマスク体験、高齢者疑似体験をとおして思いやりの大切さと福祉に対する理解を深めます。

また、子どもを取り巻く環境が変化する中で、家庭だけでなく地域全体において子どもたちのことを考え、豊かな人間性を育む効果的な推進方策を学ぶことを目的に福祉教育セミナーを実施します。

○ボランティア連絡協議会活動支援

芦北町ボランティア連絡協議会には、町内のボランティア団体14団体と行政が所属しています。定例会を2ヶ月毎に開催し、ボランティア団体の活動振興と相互の連絡・交流を図るとともに、ボランティアの輪を広げることを目的に活動しています。

芦北町施設ボランティア連絡協議会には、町内9施設と行政が所属しています。定例会を2ヶ月毎に開催し、施設間の連携及び組織の強化を図ることで芦北町福祉の総理解を深め、全体の福祉力向上に寄与することを目的に活動しています。



ボランティアセンターでは、随時ボランティアを募集しています。ボランティアに興味があるけど、どうしたらよいか分からない。何をすればいいのかわからない。という方はまずはボランティアセンターにご連絡ください。また、すでに活動をしている団体や個人の方の登録をお待ちしています。ボランティア保険などもご紹介いたします。

ボランティア活動とは、何も特別なことを行うわけではありません。あまり難しく考えず、できることから始めてみましょう。

ボランティア活動の主な4原則

**自主性
自発性**

他から強制されたり、義務としてではなく、個人の自由意思で行う活動。

**社会性
連帯性**

誰もがいきいきと豊かに暮らしていけるように、支え合い、学び合う活動。

**無償性
非営利性**

経済的な報酬を求める活動ではなく、お金では得られない出会いや発見、感動や喜びを得る活動。

**創造性
先駆性
開拓性**

今、社会で何が必要とされているかを常に考えながら、さまざまな視点から活動を見直し進めていくことが大切で、よりよい社会を自分たちで創る活動。

